

編集後記

<特集の編集を終えて>

* 21世紀における造船、建築、橋梁などの重厚長大産業は、中進国の追上げに抗するために、より安く、より安全に、より長寿命に、より短工期で、などの多様なニーズに応え得る、高付加価値の差別化商品を創出していかねばなりません。

* 総合素材メーカーである当社としては、鉄鋼、チタン、アルミ・銅、溶接材料など多岐にわたる分野において需要家における上記のような課題達成に役立つ材料を供給する責務があると認識しており、常日頃から新材料の開発に鋭意取り組んでいます。

* 今般、当社での活動の一端を広く需要家を知って頂くために本特集号を発刊す

ることになりました。編集に当たっては、できるだけ多くの素材分野から、代表的な開発成果を紹介することに努め、更に一部では、設計手法や施工設備に関する成果も盛り込みました。

* 内容的には、デザイナーやファブリーケータなどの需要家に対して何をVA提案したいのか、需要家がどのような利点を享受できのかを具体的かつ明解に紹介することを心掛けました。

* 以上のような編集者の意図が十分に盛り込まれ需要家の理解を得られる内容とすることが出来たかどうか、またそのほかにも、テーマ選定が妥当であったか、報告内容が適切であったかどうかなど、各位のご意見を頂ければ幸いです。

(小宮幸久)

次号予告

<薄膜特集>

* インターネットやモバイルコンピュータリングなどの急速かつ猛烈な普及に象徴されるように、情報通信社会は日進月歩で進化しつつあります。PCなどあらゆるコンピュータ、携帯情報端末及び携帯電話などの電子情報機器の発達と進歩は目覚しく、それらのツールは今やわれわれ人間生活の基本的な活動様式さえも変革していく原動力となっています。

* この電子情報機器・技術の発展を支える重要な構成デバイス/部材の一つの要素として、“薄膜”は大きな役割を果たしています。集積回路や液晶ディスプレイなどの半導体デバイスはシリコンなどの基板上に、また磁気ディスクや光ディスクなどの記録メディアはアルミニウムやプラスチックなどの基板上に、それぞれ種々の働きを担う多様な薄膜を積層形成して、デバイス(部品)としての所期の機能を発現させています。このように、薄膜は電子・情報・通信にとってのキーマテリアル(テクノロジー)に位置付けられています。薄膜はまた、電子情報分野のみならず、エネルギー(太陽電池など)や機械(ハードコーティングなど)などの分野においても不可欠の材料として注

目されています。

* 当社では、薄膜関連分野において、薄膜形成(成膜プロセス)装置や分析解析・測定検査装置などの機械装置事業及び薄膜形成用材料事業などを展開しており、それらを支える材料、成膜プロセスから解析評価まで、市場のニーズに応えうる新製品・新技術の研究開発に取り組んでいます。

* 次号の薄膜特集号では、液晶パネル配線膜用アルミニウム合金、ダイヤモンド薄膜による紫外線センサ、機能性薄膜成膜用UBMS(アンバランスド・マグネロン・スパッタリング)装置、低誘電率多孔質薄膜形成用超臨界プロセス技術、薄膜評価への高分解能RBS(ラザフォード・バック・スキャタリング)分析技術やプラズマによるチャージアップダメージの評価技術など、最近の研究開発成果をご紹介します。当社の幅広い素材、プロセス、機械及び解析技術にスポットを当て、対象とする先端的な薄膜技術そのものだけでなく、周辺技術や用途分野とも関連させて当社の総合的なポテンシャルをご紹介しますべく編集いたしますので、どうぞご期待ください。

(上窪文生)

編集委員

委員長	佐藤 廣 士
副委員長	永井 信 介
	服部 重 夫
委員	泉 博 二
	江藤 武比古
	於久 英 一
	上窪 文 生
	小宮 幸 久
	神保 淳 一
	杉井 謙 二
	高橋 知 和
	中川 知 伸
	松下 行 伸
	結城 滋
	<五十音順>
本号特集編集委員	小宮 幸 久

R&D / 神戸製鋼技報

第52巻・第1号(通巻第200号)

2002年4月1日発行

非売品 <禁無断転載>

発行人 佐藤 廣士

発行所 株式会社 神戸製鋼所
コミュニケーションセンター
〒651-8585
神戸市中央区脇浜町1丁目3番18号
<http://www.kobelco.co.jp>

印刷所 福田印刷工業株式会社
〒658-0026
神戸市東灘区魚崎西町4丁目6番3号

お問合わせ先 神鋼リサーチ株式会社
〒651-2271
神戸市西区高塚台1丁目5-5
(株)神戸製鋼所内
TEL(078)992-9764